

「平和大通り公園（仮称）の利活用のためのワークショップ」通信

この度は、「平和大通り公園（仮称）の利活用のためのワークショップ」（第3回）に御参加いただきありがとうございました。
本通信では、このワークショップ結果の概要についてお知らせします。

第3号

2024年
2月発行

日時:令和6(2024)年1月18日(木)18:30~20:30
場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ
参加者:18名
テーマ:「利活用のためのルール(案)の取りまとめ」



Step1

第2回ワークショップの振り返りと事業概要

Step1では、前回のワークショップ(第2回)で、各班でどのような意見交換がされたのかを振り返りました。
また、今回のワークショップでは、具体的な利活用のためのルールについて意見交換を行うに当たって、本ワークショップの位置付けや、目的等について改めて説明し、再確認しました。

Step2

ルール(グループ素案)を考える その1

Step2では、これまで実施したワークショップ結果を基に、事務局が整理した運営の方向性及びルール(事務局案)を説明した後に、以下の4つの「運営の方向性」に不足していると思う考えや、新たに気付いた考えなどについて意見交換を行いました。

「運営の方向性」

① “ひろしま”を伝える場所であること

先人から受け継がれた“緑の豊かさ”や、広島に息づく伝統や文化、地元の暮らしなど、“ひろしま”を伝えるにぎわいの場としてつくり、使っていくこと

② 平和を象徴する場であることを踏まえたにぎわいを作ること

単に人が集まり、にぎやかな空間とするのではなく“平和のシンボルロード”であることを踏まえながら、にぎわいづくりを行うこと

③ 誰もが使える空間であること

特定の人たちが使う空間ではなく、多種多様な“ヒト(人や企業など)”、“コト(体験や経験、イベント)”、“モノ(商品や芸術品など)”、“トキ(時間)”が混ざり合い、新たな回遊性が生まれる空間に仕上げること

④ 地元とともに作り上げていくこと

そこにある暮らしや営みを守りながら、公園を利用するプレイヤーと地元、行政がフラットな関係で話し合い、意見を出し合いながら、安全で美しい市民等の憩いの場となるよう作り上げていくこと

「運営の方向性」としては、全体的に良くできているという意見もあった一方で、今回のワークショップの対象区域である場所(Cゾーン)の役割を踏まえた方向性にするべきという意見や、「にぎわい」、「誰もが」など使用されている言葉が、多様な意味を持つものであるため、補足する必要があるといった意見がありました。

「議論した内容の一例」

主な意見を事務局で補足し掲載しています。(※B班とD班は、人数の関係により合同で議論しました)

運営の方向性		主な意見	
① “ひろしま”を伝える場所であること	A班	・平和大通りができた歴史(供木運動など)や伝統、文化が伝わる文言が必要である。	B+D班 ・「ひろしまを伝えるにぎわいの場」をつくるとしているが、にぎわいは「賑やかし」ではないことを明確するべき。
	C班	・①と②の違いが分かりにくいいため、違いが明確になる表現としたほうが良い。 ・“ひろしま”≠“平和”ではないのか。	E班 ・「“ひろしま”を伝える」が抽象的 ・伝統や文化などは、具体的なものが含まれている必要があるのではないかと。
② 平和を象徴する場であることを踏まえたにぎわいを作ること	A班	・「平和を象徴する場」であることを明確にするために、建物疎開や学徒動員の歴史に触れた方が良い。	B+D班 ・「にぎわい」という言葉は、芸術による「にぎわい」など様々な意味を持つため、どういった「にぎわい」なのか定義付けした方が良い。
	C班	・場所(Cゾーン)の役割を踏まえた、ある程度の割り切りは必要だと思う。①と②の違いを明確にするため、「平和」ではなく、「にぎわい」や「回遊性」を押し出した表現にした方が良い。	E班 ・平和大通り公園は、「平和」を一番に考える必要があると考えるため、この項目を①に(一番先頭に)設定するべき。
③ 誰もが使える空間であること	A班	・「誰もが使える」という表現は、①や②、④を無視する利用(例えば、平和や歴史を無視した利用)も考えられるので、表現を変えた方が良い。	B+D班 ・「誰もが」という文言には、どのような人たちが(例えば、車いすなど)が含まれるのか不明瞭な表現であるため、明確な文言にするべき。
	C班	・「誰もが」とあるが、暴力団の使用は禁止であるため、誤解を避けるため、“市民が集える憩いの場所であること”などの表現に変えるべき。	E班 ・「新たな回遊性が生まれる空間に仕上げる」のであれば、比治山公園等の周辺とのつながりを踏まえた表現にした方が良い。
④ 地元とともに作り上げていくこと	A班	—	B+D班 —
	C班	・作り上げるだけでなく、使い続けるという観点を追加するべき。	E班 ・「美しい公園」の要素が弱いので、補足するべき。
その他	A班	・平和大通り全体を意識した方向性という印象を受けるため、(今回のワークショップの対象区域である)Cゾーンに特化した方向性にした方が良い。	B+D班 ・全体的に良くできているが、意味が多様な文言については、言葉の定義が明確にした方が良い。
	C班	—	E班 ・全体的に方向性がふんわりしているため、具体的な表現にするべき。

Step3

ルール(グループ素案)を考える その2

Step3 では、議論する時間の都合から、事務局案のうち、これまで挙げられる意見の頻度が高かった利活用時の「公園の一般利用者および周辺地域への配慮」に関する以下の6つのルールのうち、班内で議論したいルールを2つ選んでいただき、「こうすれば良くなるルール」等について意見交換を行いました。

《公園の一般利用者および周辺地域への配慮に関するルール》

- (a) 利用動線について
人の動線等に配慮して仮設テント、テーブル・椅子、サイン類等を配置すること など
- (b) 音について
音響機器使用に係る時間や音量の制限や、搬入・搬出・設営・撤去時における騒音への対応 など
- (c) においについて
においや煙を発生する場合への対応や、悪臭、煙等が発生する場合の対応 など
- (d) 照明・光について
信号機や交通標識と誤認防止への配慮や、照明や投光器などの向きの制限 など
- (e) 公園内樹木、慰霊碑等について
樹木に対して物理的な干渉についての制限や、慰霊碑等への参拝のための広さの確保、損傷等への対応 など
- (f) 広告物の掲示について
広島市屋外広告物条例等に係る届出や、イベントの告知看板の設置を想定した際の手続きの対応 など

“バリアフリー”に関するルールの追加や、イベント等の開催時に設置するサインの表記方法に関するルールの追加、具体的な数値等を付け加えることで、ルールを強化することなどのほか、明るさを規制するだけでなく、イベント主催者等へ事前に平和大通りの歴史などを説明することや、公園内の施設情報を事前に提示することなど、様々な視点で意見が挙げられました。

また、(仮)平和大通り公園利活用検討準備会等を設置するなど、利活用の実施に向けた体制づくりを行い、前向きに議論を進めていくことが必要だという意見もありました。

《議論した内容の一例》

主な意見を事務局で補足し掲載しています。

ルール項目	修正点など
(a)利用動線について	・ バリアフリーに関するルールを追加する。 ・ 「設置物は〇〇メートル離すこと」など、具体的に利用動線を確保する数値をルール内に提示する。 ・ 設置するサインについては、色(アースカラーではなく目立つ色)や高さなどを統一させ、利用者に分かりやすくさせるルールが必要である。 ・ 災害時を意識した安全な動線の確保をさせるルールが必要ではないか。
(b)音について	・ デシベル表記だと分かりにくい。 ・ 音はデシベルよりも「時間」を制限することが効果的である。 ・ 原則の利用時間帯に補足的にこういう場合は、条件に入らないなど特殊な場合のルールを追加する。
(c)においについて	・ BBQ などの「焼き物」や「仮設トイレ」の設置場所は、特に周辺地域への配慮が必要であるため、具体的に記載する。
(d)照明・光について	・ 治安維持のために、一定以上明るい公園をつくるルールが必要ではないか。
(e)公園内樹木、慰霊碑等について	・ 樹木の周辺を踏み固めないように設置物の重さ規制や、人の動線を規制するルールを追加する。 ・ 慰霊碑に立ち入らないために、サインや地図を提示させるルールを追加する。 ・ イベント等の来訪者へ、樹木の保全や慰霊碑への立ち入りに関するルールの提示をさせるルールを追加する。 ・ 緑地帯の中にある水道管や樹木の根などの情報をルールの中で提示してはどうか。
(f)広告物の掲示について	・ 「イベント来場者以外の不特定多数に向けて表示しない」としているが、場所が道路である以上、難易度が高いため制限が難しいのではないか。

○その他のルール項目等についての意見(ワークショップ感想カード等)

- ・ 喫煙に関するルールについて、「公園内の喫煙は禁止(喫煙スペースの設置も不可)」としているが、禁止すると付近の路上等で喫煙が多発する可能性がある。
- ・ ルールであるため、数値を入れるなどもっと具体的にした方が良い。
- ・ 災害時の避難所としての利用方法等を盛り込む。
- ・ イベントを開催するにあたり、中止の基準、天候等の基準が必要ではないか。
- ・ (仮)平和大通り公園利活用検討準備会等の設置に賛成。前向きに議論を進めていくことが必要である。



Step4

議論内容のまとめと議論内容の報告

各班で話し合った内容について、発表者の平和大通りに対する思い等も含めて参加者全員の前で発表し、その内容を参加者全員で共有しました。

「平和大通り公園(仮称)の利活用のためのワークショップ」に御参加いただき、誠にありがとうございました。令和5年9月から合計3回開催したワークショップを通じて、様々なアイデア等を頂き意見交換を円滑に進めることができました。今年度のワークショップは今回で終了となりますが、平和大通りの利活用に向けて、引き続き、御協力いただきますよう、よろしくお願いします。